

函 農 水

令和5年(2023年)2月13日

経済建設常任委員会 委員各位

農 林 水 産 部 長

参考資料の配付について

このことについて、下記のとおり資料を配付しますのでよろしくお願  
いします。

記

コンブ養殖技術等の研究について  
(地方大学・地域産業創生交付金事業)

(農林水産部水産課)

コンブ養殖技術等の研究について  
(地方大学・地域産業創生交付金事業)

本市では、海洋環境の変化などにより天然コンブ資源が減少し、生産量の低下とともに、天然コンブを母藻（種コンブ）として種苗を生産する養殖コンブへの影響が懸念されていることから、令和4年度より地方大学・地域産業創生交付金を活用し、

- (ア) 養殖（促成）コンブを母藻とした種苗を生産する完全養殖技術の開発
- (イ) 水温上昇に対応した生産管理に関する研究
- (ウ) コンブの種苗を長期間保存する技術の研究

などのほか、天然藻場の回復についても北海道大学や函館水産試験場などと連携を図りながら、取り組みを進めているところでありますが、このうち(ア)完全養殖技術の開発の状況についてお知らせします。

## 1 研究の概要

従来の天然コンブを母藻とした種苗生産に加え、養殖コンブから種苗を生産する技術を開発する。

また、天然コンブおよび養殖コンブを人為的に成熟させ、早期に種苗を生産する「成熟誘導技術」により、適正な育成期間を確保することで、養殖コンブの安定生産を図る。

## 2 取り組みの状況

- ・ 令和4年9月に戸井漁業協同組合のコンブ種苗センターにおいて、養殖（促成）コンブから良質な胞子を採苗し、試験的に種苗を生産することができたところであり、現在、戸井海域において養殖を行っている。
- ・ 天然コンブおよび養殖コンブを成熟誘導により、これまでより約1か月早く、種苗を生産することができたところであり、現在、海面において成長の度合いを検証している。（別紙参照）

## 3 今後の取り組み

- (1) 海面養殖している種苗を、本年6月に水揚げし、製品としての品質を確認する。
- (2) 本技術により生産した種苗が、他の海域においても育成が可能か検証する。
- (3) 漁業協同組合への成熟誘導技術等の普及と低コスト化などを検討する。

成熟誘導による養殖スケジュール

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
従来		種苗生産	仮植	育成・間引き等										収穫	
現在		母藻の成熟遅れ	種苗生産	仮植	育成・間引き等										収穫
成熟誘導		成熟誘導	種苗生産	仮植	育成・間引き等										収穫



成熟誘導により、マコンブの生育に適した水温になる10月に沖出しが可能

